

成東・東金食虫植物群落の 保全対策について

平成16年11月22日
山武地域整備センター

報告内容

- 1 作田川改修の進捗状況
- 2 成東・東金食虫植物群落の概要
- 3 食虫植物群落の保全対策
- 4 作田川だよりの紹介

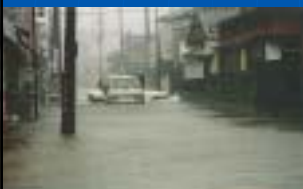
1 作田川改修の進捗状況

流域図



浸水被害

H8.9の台風17号により**浸水被害**が発生
H13, H14にも**浸水被害**が発生



成東町中心市街地

JR日向駅周辺

平成16年10月8～9日 台風22号による
浸水実績図



事業概要

事業期間 H15～H19
治水安全度 1回/10年
(H8 洪水に対応)
総事業費 約83億円

全体延長 L = 9,100m

L = 3,210m

L = 1,170m



成東・東金食虫植物群落

成東市街地



成東市街地

境川合流点～鍛冶橋
進捗状況・工事予定

用地買収 70%

工事概要

東橋 薬師橋 昭和橋
築堤

日向駅周辺



日向駅周辺

殿内橋～JR橋

H16 河道詳細設計
用地買収図作成
H17～用地買収予定

2 成東・東金食虫植物群落の概要





日本で最初の天然記念物

「成東・東金食虫植物植物群落」は、1920年（大正9年）、日本で初めて天然記念物に指定されました。

これまでにおよそ300種以上にものぼる植物が記録され、現在でもわずか1.7haの指定地内に7種の食虫植物をはじめとして、たくさんの貴重な野草が生育しています。

群落地の地域特性

保水力の高い下総台地から地下水や地表水が流れ込み地下水位が高く多湿

砂質地盤のため貧栄養状態

食虫植物群落の課題

さらなる地下水位の確保

作田川の富栄養化の防止

土壌の貧栄養化

3 食虫植物群落の保全対策

食虫植物群落保全基本方針

食虫植物群落の地下水の低下を防ぐ

食虫植物群落から工事施工箇所の隔離を可能な限り設ける

堤防を厚くして地下水の涵養を図る

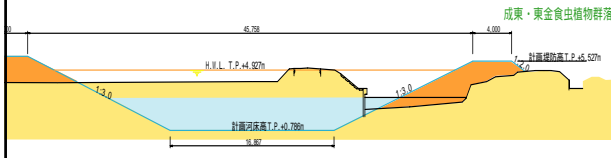
継続的地下水位調査によるフォローアップ

食虫植物群落の地下水の低下を防ぐ

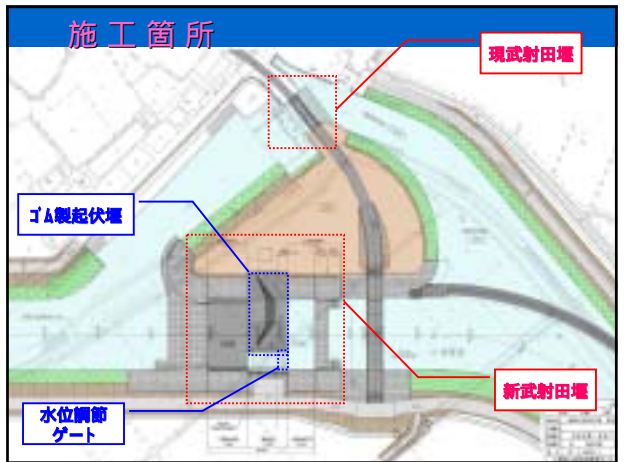
工事位置



標準断面図



施工箇所



ゴム製起伏堰



水位調節ゲート

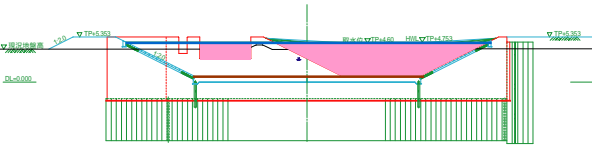


灌 漑 期 (4 月 ~ 8 月)

ゴム引布製起伏堰, 水位調節用起伏堰の
両方を起立させ取水水位を確保

水位調整ゲート

ゴム製起伏堰

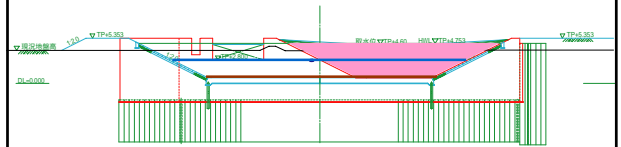


非灌漑期 (9 月 ~ 3 月)

ゴム引布製起伏堰を起立させ水位を維持
水位調節用起伏堰を倒伏し現在の非灌漑期の
平均水位を確保する

水位調整ゲート

ゴム製起伏堰

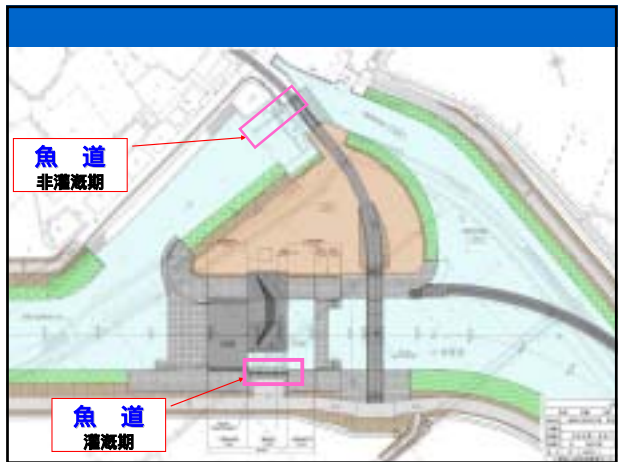
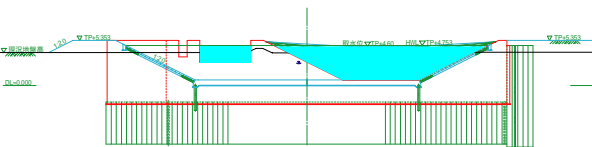


洪 水 時

ゴム引布製起伏堰, 水位調節用起伏堰の
両方を倒伏させ流下断面を確保

水位調整ゲート

ゴム製起伏堰



食虫植物群落から工事施工箇所の
隔離を可能な限り設ける

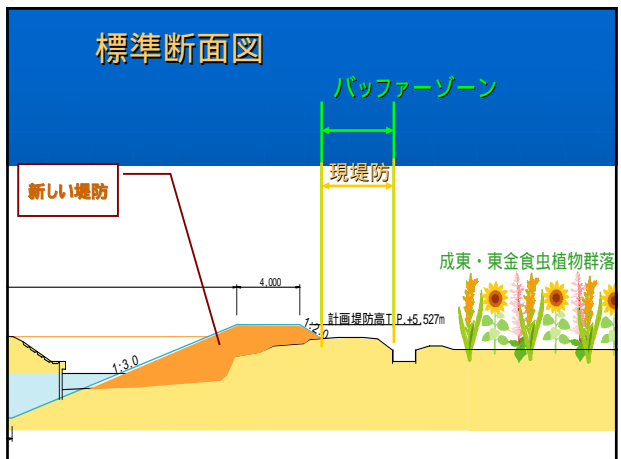
標準断面図

バッファゾーン

新しい堤防

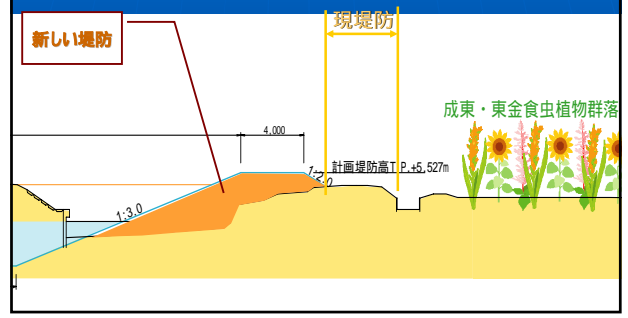
現堤防

成東・東金食虫植物群落



堤防を厚くして地下水の涵養を図る

標準断面図



継続的地下水位調査による
フォローアップ

調査箇所



地下水観測井



地下水位

